

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

### 病害虫防除情報第3号

斑点米カメムシ類の発生状況についてお知らせします。  
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

斑点米カメムシ類の防除時期になりました。下記の内容に注意して、適切な防除を行いましょう。

1. 作物名 早期水稻  
2. 病害虫名 斑点米カメムシ類

#### 3. 発生状況

- (1) 6月中旬の巡回調査における発生面積率は21.0% ( 平年17.6% )、20回振りすくい取り虫数は0.7頭 ( 平年0.4頭 ) で、いずれも平年並であった ( 表 - 1 参照 )。  
(2) クモヘリカメムシの密度が高く、次いで、アカスジカスミカメ、シラホシカメムシ類の順であった ( 表 - 2 参照 )。  
(3) 6月上旬の水田周辺におけるイタリアンライグラスほ場での生息密度 ( 20回振りすくい取り ) は、県全体平均24.0頭 ( 平年43.0頭、前年30.8頭 ) で平年比やや少であった。

#### 4. 防除上の注意

- (1) 穂揃期とその7~10日後の2回防除が基本であり、高密度の場合はさらに追加防除が必要である。1回のみ防除では、密度が低い場合でも品質低下による等級格下げの重要な要因となるので、一等米を確保するためにも2回防除を徹底する。  
(2) 広域の集団一斉防除に努め防除効率を高める。  
(3) 地域内の出穂の早い水田には集中的に飛来する恐れがあるので注意する。  
(4) 薬剤等その他の詳細については関係機関に照会すること。  
なお、ポジティブリスト制度の施行に伴い、農薬の使用については今まで以上に厳重な注意を払うことが必要である。周辺作物の栽培状況等に留意し、地域全体で農薬のドリフト防止に努める。

表 - 1 本田における斑点米カメムシ類の生息密度 ( 地域別平均 )

	発生面積率 (%)			すくい取り虫数 ( 20回振頭数 )		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
県北	16.7	33.3	/	0.2	0.5	/
県中	16.7	33.3		0.8	2.8	
県南	37.5	12.5		0.9	0.1	
全県	21.0	28.9	17.6	0.7	1.9	0.4

数値は、ミミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、ホリハリカメムシ、シラホシカメムシ類、アカスジカスミカメの合計の平均値

表 - 2 本田における斑点米カメムシ類の種別平均頭数 ( 20回振り )

	ミミアオカメムシ	クモヘリカメムシ	ホリハリカメムシ	シラホシカメムシ類	アカスジカスミカメ	全種
県北	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.17
県中	0.00	0.63	0.00	0.04	0.08	0.75
県南	0.00	0.63	0.00	0.00	0.25	0.88
全県	0.00	0.55	0.00	0.03	0.11	0.67

#### 連絡先

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター ( 加治佐 )  
TEL: 0 9 8 5 - 7 3 - 6 6 7 0  
Fax: 0 9 8 5 - 7 3 - 7 4 9 9  
E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp